

「性の多様性を知ろう」 図書展示@中央・西図書館 2020年1月20日-2月7日

ダイバーシティ研究センター
(期間の途中で両館の図書を入れ替えます)

広島大学が2019年12月に「性の多様性に関する理念と対応ガイドライン——LGBT等の学生の修学のために」を制定したのを知っていますか？

https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/post_16.html



これは、一人一人の学生がどのような性であろうとも、安心して存分に活動できる大学であることを目指して、広島大学が考え方ややり方を示した冊子です。

これを機に、多くの人に「性の多様性」に関心をもってもらいたいと思い、図書展示を企画しました。

展示してある本自体は借りることができませんが、リストに（西）などと記してある本は、大学の図書館でも所蔵していますので、そこで借りることができます。また、展示終了後であれば、ダイバーシティ研究センター（教育 B 棟 8 階にあります）で借りることもできます。

ブックリスト

入門書・解説書

- 麻生一枝『科学でわかる男と女になるしくみ——ヒトの性は、性染色体だけでは決まらないソフトバンククリエイティブ 2011年
石川大我『ゲイのボクから伝えたい「好き」の？(ハテナ)がわかる本——みんなが知らないLGBT』太田次郎社エディタス 2011年
石田 仁『はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)』ナツメ社 2019年（西）
遠藤まめた『先生と親のためのLGBTガイド——もしあなたがカミングアウトされたなら』合同出版 2016年（西）
はたちさこ・藤井ひろみ・桂木 祥子（編著）『LGBTサポートブック——学校・病院で必ず役立つ』保育社 2016年（西）
原ミナ汰、土肥いつき（編著）『にじ色の本棚——LGBTブックガイド』三一書房 2016年（西）
アシュリー・マーデル『13歳から知っておきたいLGBT+』ダイヤモンド社 2017年（西）
柳沢正和・村木真紀・後藤純一『職場のLGBT読本——「ありのままの自分」で働ける環境を目指して』実務教育出版

2015 年（西）

ライフストーリー・エッセイ・ルポ （茶色テープ）

- 砂川秀樹（編著）・RYOJI（編集）『カミングアウト・レターズ』太郎次郎社エディタス 2007 年（西）
 蕙森樹『男でもなく女でもなく——本当の私らしさを求めて』朝日文庫 2001 年（中央・西）
 中村 美亜『クィア・セクソロジー——性の思いこみを解きほぐす』インパクト出版会 2008 年
 毎日新聞「境界を生きる」取材班『境界を生きる——性と生のはざままで』毎日新聞社 2013 年（霞・千田）

専門書（大学生講義レベル） （黄色テープ）

- 石井由香理『トランスジェンダーと現代社会——多様化する性とあいまいな自己像をもつ人たちの生活世界』明石書店 2018 年（西）
 掛札悠子『「レズビアン」である、ということ』河出書房新社 1992 年
 風間孝・河口 和也『同性愛と異性愛』岩波新書 2010 年（西）
 風間孝・河口和也・守如子・赤枝香奈子『教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ』法律文化社 2018 年（西）
 砂川秀樹『カミングアウト』朝日新書 2018 年（霞）
 砂川秀樹『新宿二丁目の文化人類学——ゲイ・コミュニティから都市をまなざす』太郎次郎社エディタス 2015 年（西）
 田中玲『トランスジェンダー・フェミニズム』インパクト出版会 2006 年
 橋本紀子・池谷壽夫・田代美江子（編著）『教科書にみる世界の性教育』かもがわ出版 2018 年（中央・霞）
 三成美保（編著）『LGBTI の雇用と労働——当事者の困難とその解決方法を考える』晃洋書房 2019 年（千田）
 三成美保（編著）『教育とLGBTIをつなぐ——学校・大学の現場から考える』青弓社 2017 年（西）
 南和行『同性婚——私たち弁護士夫婦です』祥伝社新書 2015 年（西）
 森山至貴『LGBT を読みとく——クィア・スタディーズ入門』ちくま新書 2017 年（西）
 リヒテルズ直子『0 歳からはじまるオランダの性教育』日本評論社 2018 年（中央）

選書責任者：ダイバーシティ研究センター 大池真知子